

裾野の未来を“混ぜて”つくる！

裾野駅・岩波駅周辺のにぎわいづくりを提案



市では、令和7年度に、道路や河川、公園などの整備が進む裾野駅・岩波駅周辺のにぎわいづくりを調査研究する「にぎわいづくりプロジェクトチーム」を庁内横断的に組織しました。11人の職員が、市民の皆さんや専門家へのヒアリング、社会実験などを経て、提案する施策を提言書にまとめ、3月に市長へ提出しました。

今年度は、施策に関係する各課が提言内容の実現に向け検討し、取り組みを進めます。



☎ 駅周辺整備課
994-9010

にぎわいづくりを実現する2つの視点

●視点1 “混ぜる”

人口減少が進む今、行政と民間、大人と子ども、公共機能と収益機能など、施策の発想に“混ぜる”を意識することで、新しいコミュニティやサービスを生み出し、まちの密度を高めます。

●視点2 “伴走する”

市民の皆さんの挑戦なしににぎわいは生まれません。行政は管理する立場から、市民の皆さんの挑戦を支え、共に成功を目指す「伴走者」へと役割を変えていく必要があります。

見て、聞いて、試して、課題解決へ

プロジェクトチームでは、グループに分かれて裾野駅周辺や岩波駅周辺など市内各地を実際に歩き、担当課にヒアリングして、課題を抽出。課題に合った先行事例の視察や学習会などを開催したほか、社会実験を実施しました。市民、地元高校（裾野高・沼津市立高）、商店、周辺企業、専門家からまちづくりに対するニーズを収集するなどし、当市に合った施策をまとめました。



▲まち歩き



▲市民まちづくり講座

市長に提言書を提出

3月25日(水)、市長にプロジェクトチームのこれまで取り組みを説明し、提言書を手渡しました。市長は「市役所の枠を超え、にぎわいづくりを前進させましょう」と新しいまちづくりに向けた決意を語りました。



具体的な施策の提案

●公共資産の活用

①公共用地の価値向上（駅西公園実証実験から）

憩いの場として使われる公園に、にぎわうイベントができる環境を整えます。適正な利用料金などを継続して調査し、財源の確保と環境維持を目指します。



▲駅西公園で開催したビアガーデン（社会実験）

②官民連携による市有地の活用

市が裾野駅周辺に保有する土地を対象に、新たな手法（LABV）で公共施設や商業施設などを複合的に整備し、官民一体でのにぎわいづくりを目指します。

※LABV (Local Asset Backed Vehicle) ▶市が持つ土地や建物（資産）と事業者のお金・アイデア・運営力を合わせた事業体が施設整備する手法。官民のリスク分散ができる手法として着目されています。

③官民連携による鈴木図書館（東西公民館）の価値向上と施設維持

官民連携で、図書館としての機能に、子育て支援や飲食スペースなどの機能を加え、複合型のサービスを提供する場所へのリニューアルを目指します。

④黄瀬川緑地公園の活用

岩波駅近くに新しく整備予定の公園を、イベントなどを通じて地域のにぎわいもたらす拠点として整備します。

⑤お休み処の利活用

現在実施している市役所地下多目的ルームの開放を継続し、市民の一層の利用を促します。

⑥岩波駅レトロスペースの環境充実

待合場所として利用されている岩波駅旧駅舎に、滞在や交流につながる機能を追加し、さらに心地よい空間へと進化させることを目指します。



▲本の交換所を設置（社会実験）

●民間活力発揮に関わる

①空き家・空き店舗の有効活用（リノベーションによるまちづくり）

空き家や空き店舗を、個性を発揮するお店に変身させ、裾野ならではの小さなビジネスが生まれる場所とできるよう、事業者目線でリノベーションのノウハウを学習できる機会を提供します。

②空き家を活用したにぎわいづくり

空き家の所有者と使いたい人をつなぎ、接触や交渉を円滑に進めるための伴走支援体制の構築を目指します。

③個人店の事業継承

長く親しまれてきた地元の名店や高い技術力を持つ地元の商店を、味や技術とともに次世代へつなぐため、地域おこし協力隊制度や開業支援の仕組みを作り、個人店の事業継承を支援し、個性があるまちのにぎわいづくりを目指します。

④狭い道路の価値検証

裾野駅東側の狭い路地を今後どのようにすべきか、実態調査や市民の皆さんの意向などを通じて、暮らしと商い、にぎわいと安全の調和が図られたエリアとするための道路のあり方を考えます。

●新たな課題への対応

①裾野高校統合への対応

まちと高校生とのつながりを強くするため、裾野高校の授業サポートや中高生の公共施設利用無償化、就職相談会の充実など、学生の存在が感じられる現状の維持を目指します。

②公共交通施策

裾野駅や岩波駅と市内各地を結ぶネットワークを充実させるため、自動運転などの新しい移動手段の導入を目指した調査や研究を行います。

皆さんの「声」が、未来の裾野を創ります

この提言は完成形ではありません。提言を実現するために最も大切なのは、実際に駅周辺を利用する皆さんの率直な意見です。

「こんなお店があったらいいな」「こんな場所なら使ってみたい」など、あなたのワクワクするアイデアや提言内容への意見をお寄せください。



意見募集
フォーム

回答期限／8月31日(月)